

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2015年度の発行動向～

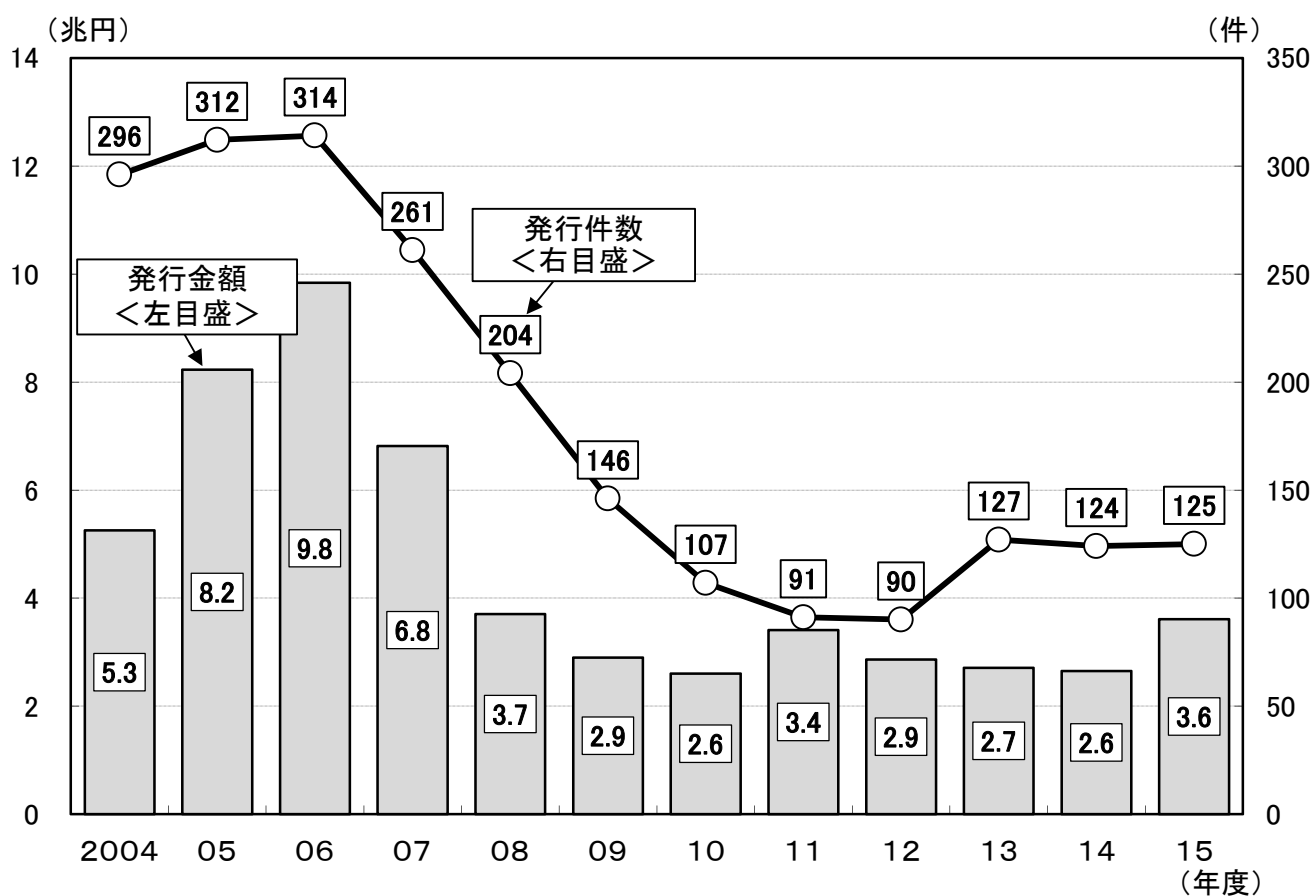
本調査は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2015年度（2015年4月～2016年3月）発行分の結果を取り纏めたものです。

なお、図表において使用する数値データにつきましては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2015年度における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに前年度を上回り（金額3兆6,092億円<前年度比+36.3%>、件数125件<同+0.8%>）、2009年度以降で最も大きな発行金額となった（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・発行件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2015年度分は暫定数値>）

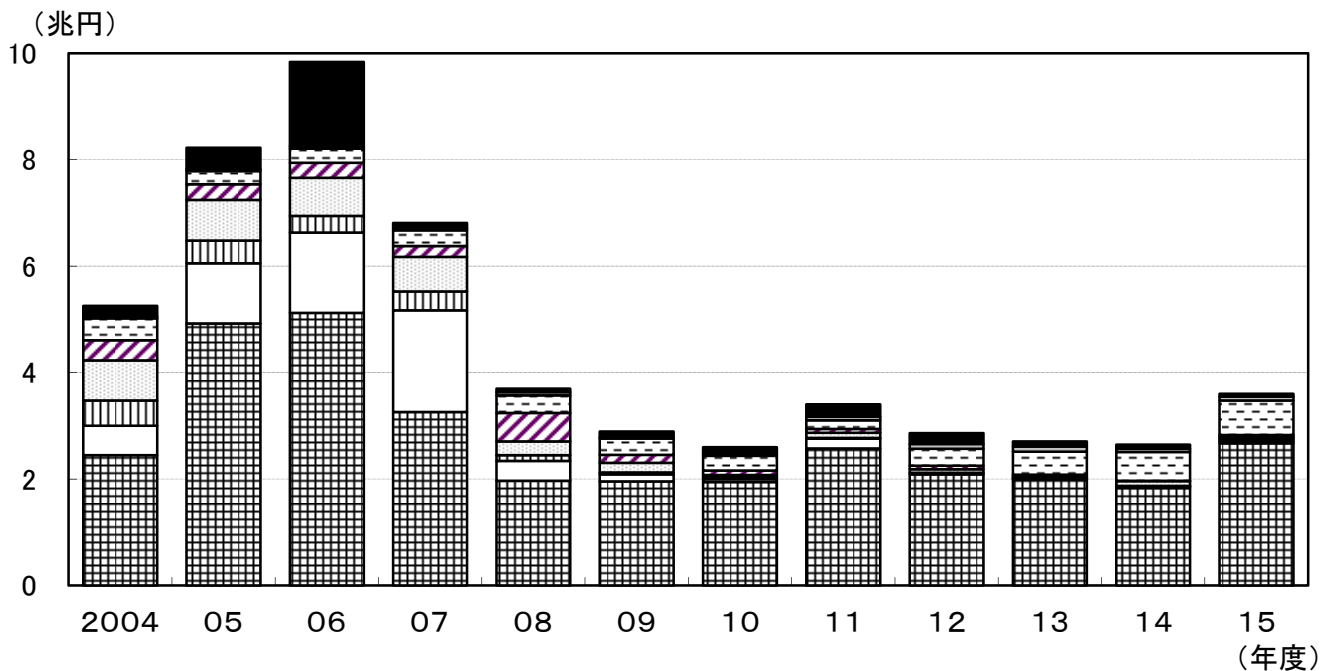
年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
発行金額	5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3	9.9	8.3	8.2	8.1	8.7	6.9

2. 裏付資産別の発行動向

2015年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「RMBS」、「CMBS」、「CDO」、「消費者ローン」、「ショッピング・クレジット」及び「売掛金、商業手形」が増加し、「リース」及び「その他」は減少した。なかでも、「RMBS」は2008年度以降で最も大きな発行金額となった。また、「ショッピング・クレジット」は4年連続の増加であった（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金、商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	26,747	439	403	296	413	6,516	735	543	36,092
前年度比(億円)	+8,362	+166	+349	▲611	+348	+1,063	+154	▲224	9,606
前年度比(%)	+45.5	+60.6	+638.3	▲67.4	+535.4	+19.5	+26.4	▲29.2	+36.3
構成比(%)	74.1	1.2	1.1	0.8	1.1	18.1	2.0	1.5	100.0
発行件数(今年度)	40	4	6	3	2	49	16	5	125
(前年度)	41	2	3	5	1	41	24	7	124

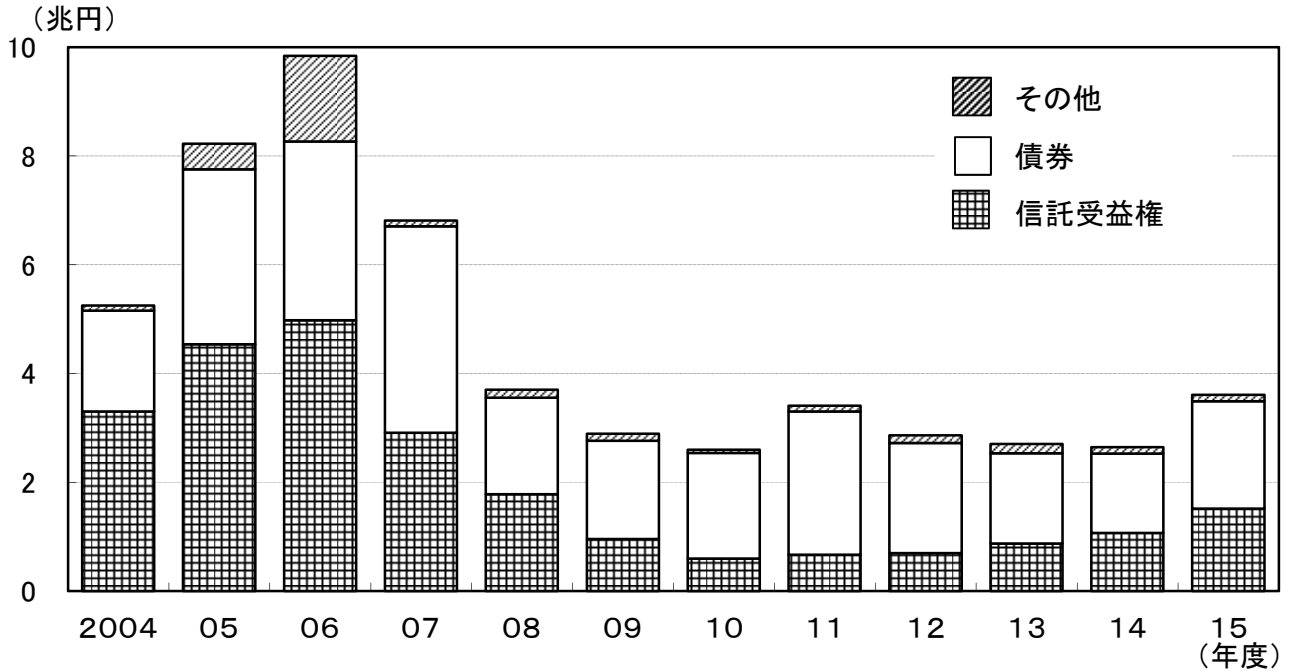


■ その他	基金債権、劣後ローン債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等
■ 売掛金、商業手形	売掛債権、手形債権
■ ショッピング・クレジット	ショッピングクレジット債権、クレジットカード債権、オートローン債権
■ 消費者ローン	消費者ローン債権、カードローン債権
■ リース	リース料債権
■ CDO	(Collateralized Debt Obligations) 企業向け貸付債権、社債、CDS等
■ CMBS	(Commercial Mortgage Backed Securities) 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
■ RMBS	(Residential Mortgage Backed Securities) 住宅ローン債権、アパートローン債権

3. 発行形式別の発行動向

2015 年度における証券化商品の発行金額（3兆 6,092 億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆 9,702 億円（構成比 54.6%）と最も多く、次いで「信託受益権」が1兆 5,180 億円（同 42.1%）であった（図表 3）。

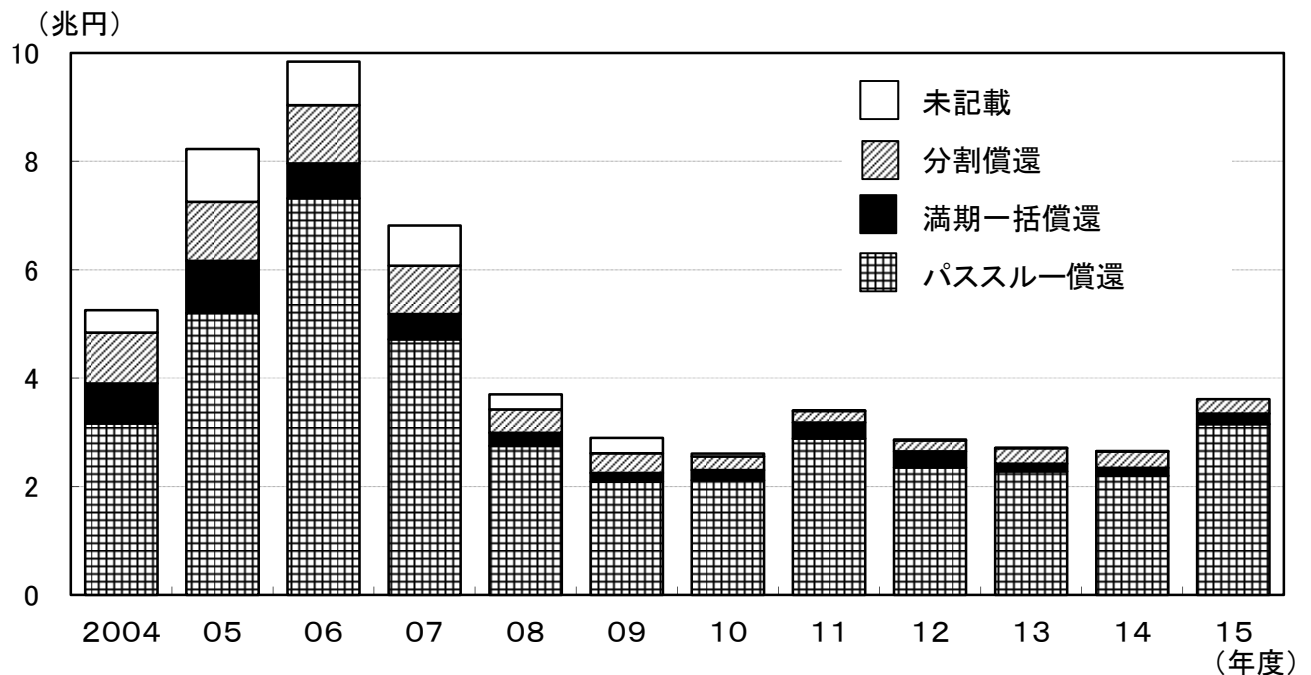
（図表 3）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2015 年度における証券化商品の発行金額（3兆 6,092 億円）の「償還方法」別内訳をみると、「パススルー償還」が3兆 1,480 億円（構成比 87.2%）と最も多かった（図表 4）。

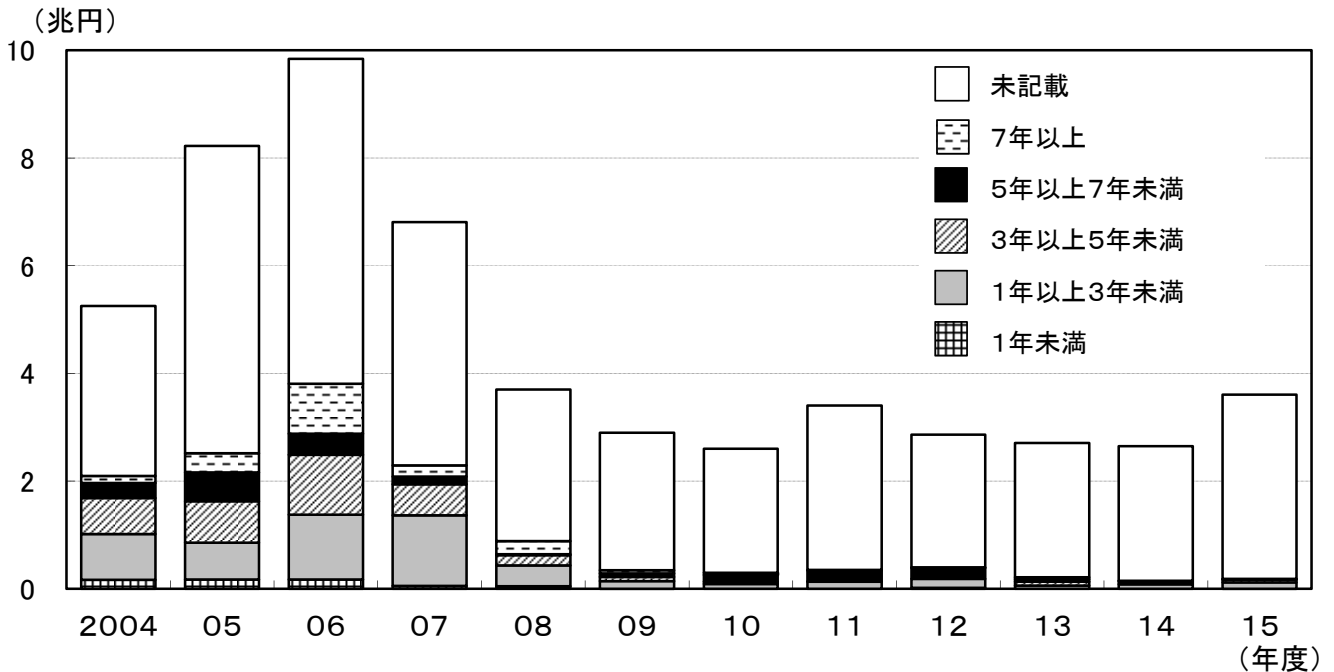
（図表 4）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2015年度における証券化商品の発行金額（3兆6,092億円）の「予定／平均年限」別内訳をみると、「未記載」が3兆4,249億円（構成比94.9%）と最も多かった。記載のある中では、「1年以上3年未満」が1,144億円（同3.2%）と最も多く、次いで「3年以上5年未満」が523億円（同1.4%）であった（図表5）。

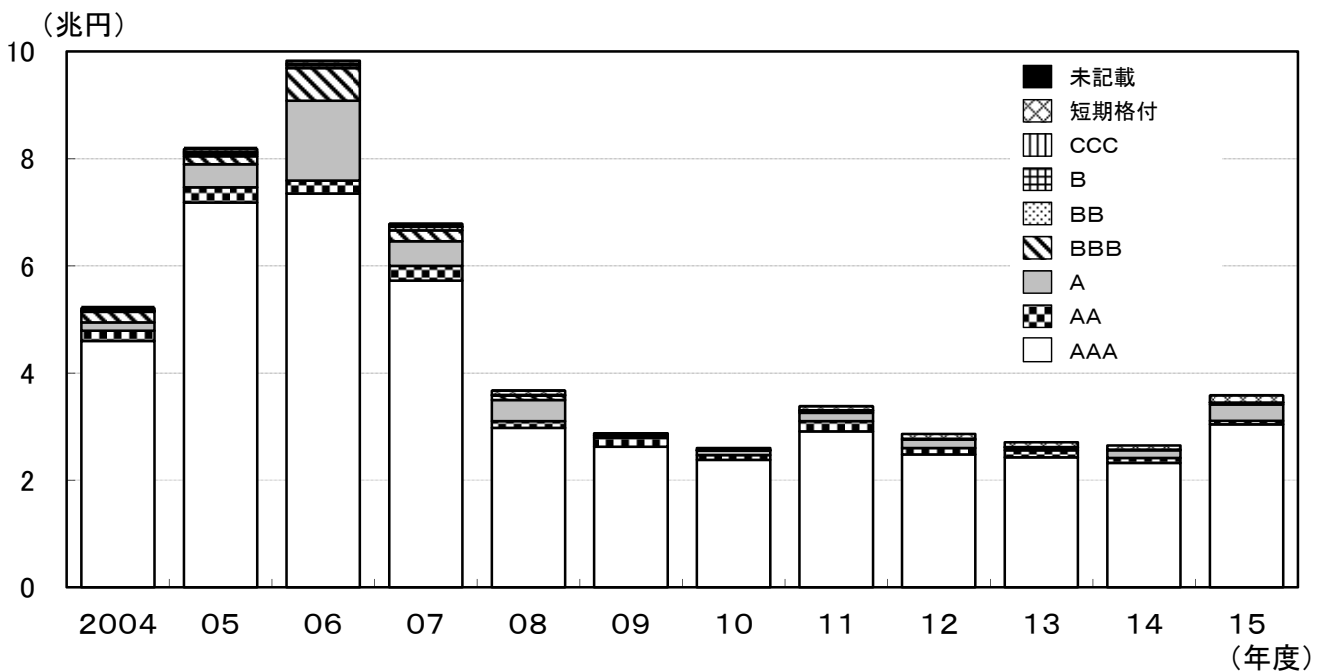
（図表5）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2015年度における証券化商品の発行金額（3兆6,092億円）の「格付」別内訳をみると、「AAA」が3兆429億円（構成比84.3%）と最も多かった（図表6）。

（図表6）証券化商品の「格付」別発行金額

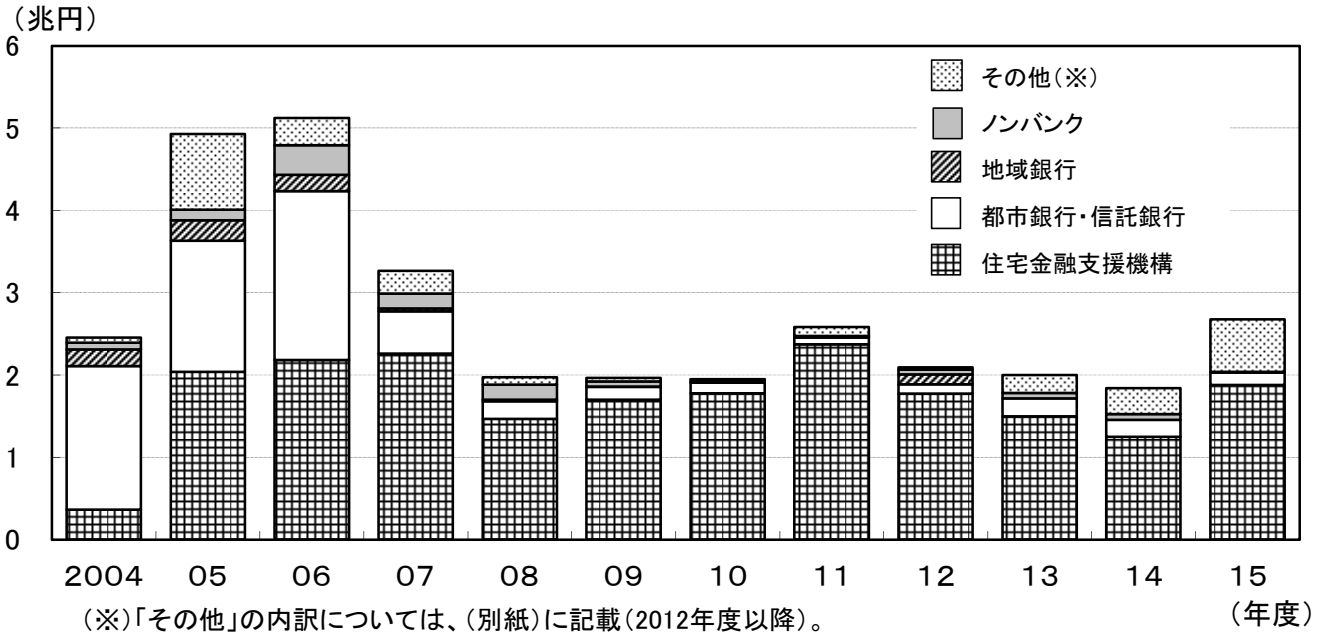


<補足>

① RMBSのオリジネーター別発行金額

RMBSの発行金額（2兆6,747億円）の「オリジネーター」別内訳をみると、「住宅金融支援機構」が1兆8,753億円（構成比70.1%）と最も多く、次いで「その他」が6,376億円（同23.8%）であった（図表7）。

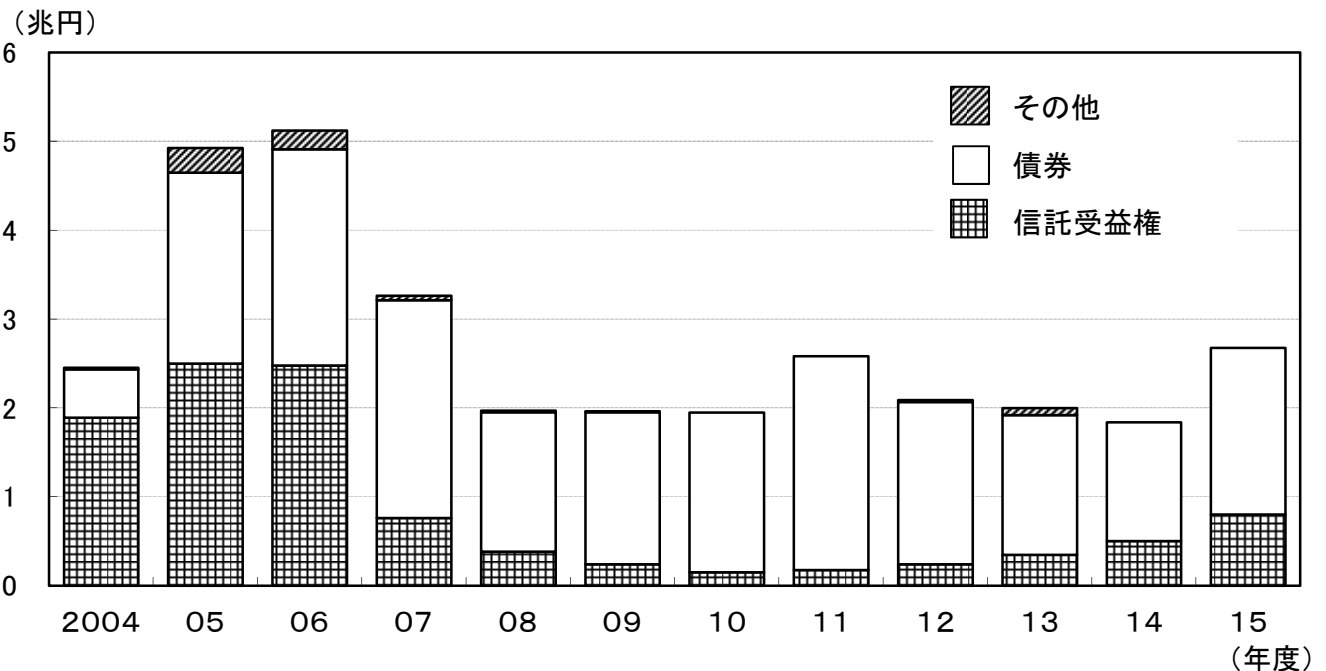
（図表7）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



② RMBSの発行形式別発行金額

RMBSの発行金額（2兆6,747億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が1兆8,753億円（構成比70.1%）と最も多く、次いで「信託受益権」が7,994億円（同29.9%）であった（図表8）。

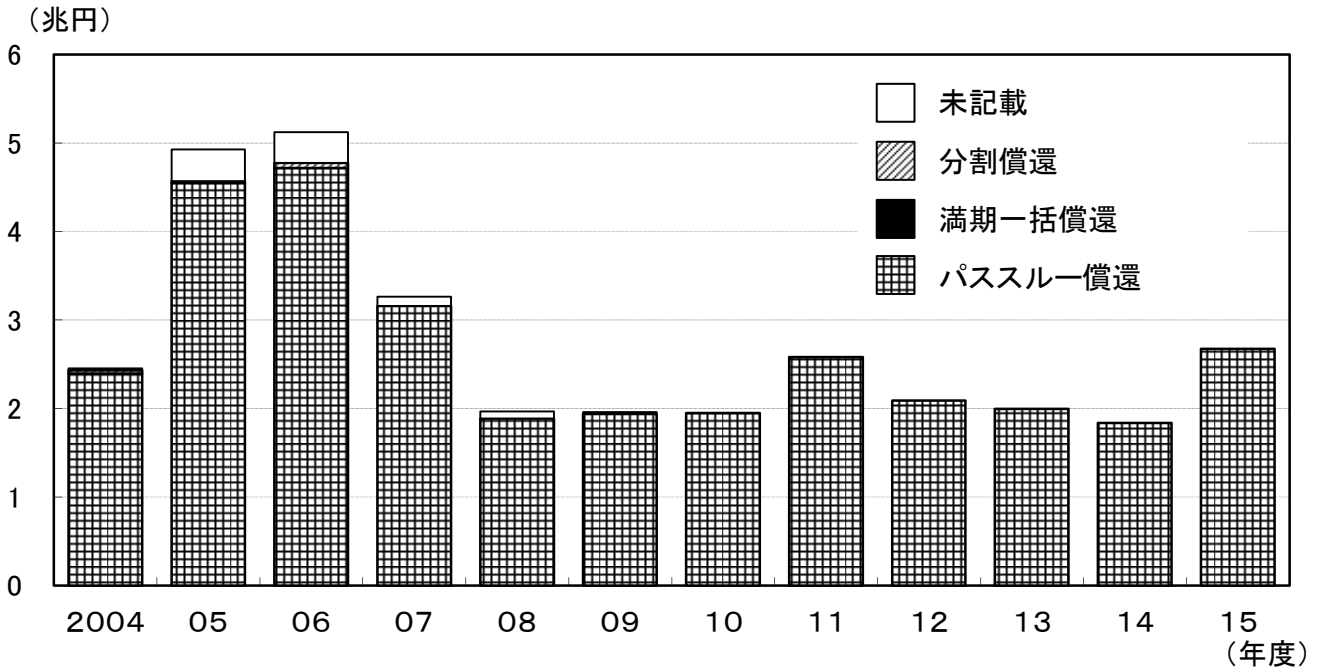
（図表8）RMBSの「発行形式」別発行金額



③ RMBSの償還方法別発行金額

RMBSの発行金額（2兆6,747億円）の「償還方法」別内訳をみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表9）。

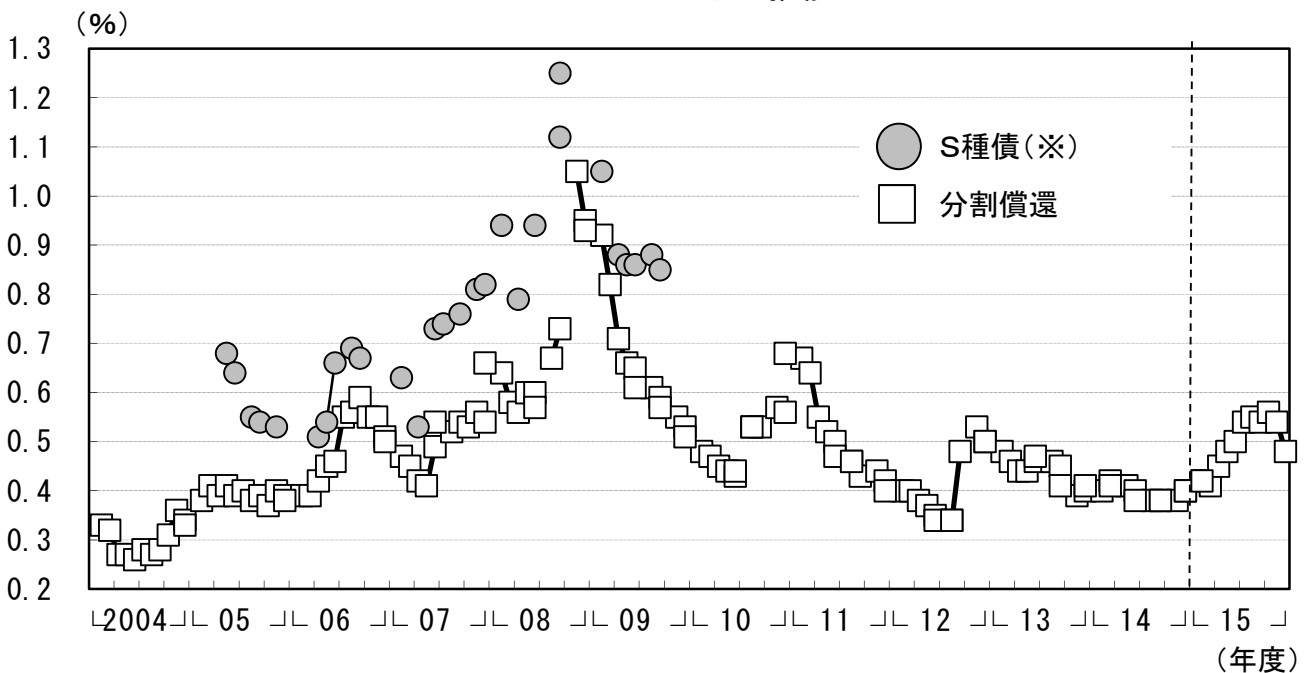
（図表9）RMBSの「償還方法」別発行金額



④ 住宅金融支援機構MBSのローンチスプレッド

住宅金融支援機構MBSのうち貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の新発10年国債利回りとの差）は、2015年7月発行分以降、徐々に拡大したが、2016年3月発行分において縮小した。（図表10）。

（図表10）貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド推移



※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

以上